

Mito UNESCO プラネタリー塾

2024年度 活動報告書



Photo by iStock



水戸ユネスコ協会
Mito UNESCO Association

目 次

「Mito UNESCO プラネタリー塾」の開塾にあたって 水戸ユネスコ協会会長 中庭陽子	1
水戸ユネスコ協会と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	2
受講生募集チラシ	3
第1回 開塾式、異文化理解：英語で国際交流 …講師：パーコフィ エイキンス 氏	4
第2回 世界のいま —広げよう平和の心— …講師：川上 千春 氏	6
第3回 地域の文化遺産とは —ひと・まちが輝く未来の設計— …講師：横須賀 満夫 氏	8
第4回 環境学習会 —これからの地球を考えよう— …講師：三村 信男 氏	10
第5回 SDGs活動 —梅染め体験— …講師：林 和男 氏	12
第6回 茶の発祥から世界の歴史をたどる —中国からイギリスまで …講師：先崎 キヨ子 氏	14
ユネスコ憲章 前文 抜粋 / コラム「修了生第1号誕生」	16
平和へのメッセージ	17

「Mito UNESCO プラネタリー塾」の開塾にあたって

水戸ユネスコ協会会長 中庭 陽子

今年度、これからの時代を担う若い世代を主な対象として「Mito UNESCO プラネタリー塾」を立ち上げ、異文化理解・国際交流・国際平和・地球環境保護・地域文化遺産保護・SDGs 活動という切り口で 6 つの講座を用意しました。「平和な世界の実現」と「持続可能な社会の実現」のための行動を、若い世代の皆さんとともに自分事として考えるきっかけにしていきたいと考えております。

第二次世界大戦の惨禍を経験し「二度と戦争を繰り返さない」という決意に基づいて UNESCO が創設されましたが、80 年が経とうとしている今、各国が自国の防衛を強化せざるを得ない事態が発生し、また、グローバル化が進んだ結果、貿易やエネルギーや移民の問題などで各国の対立が深まっています。また、地球温暖化による気候変動により、洪水・干ばつ・山火事が頻繁に発生し世界各地が大きな災害に見舞われています。IT の発達により、さまざまな情報が飛び交い、世界には「疑惑と不信」そして「不寛容」が加速して広がっています。大きく変わった時代の流れの中で、UNESCO 憲章が目指した平和な国際社会の実現が遠のいてしまったかのようです。

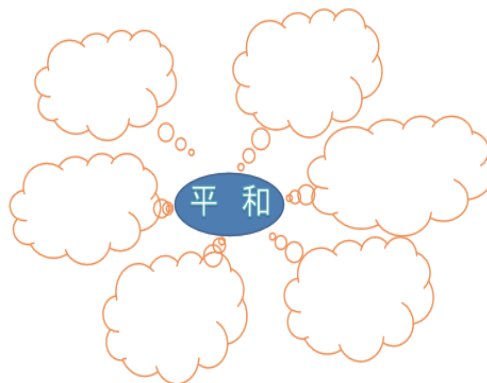
プラネタリー塾という名称は「地球の限界」を表す「プラネタリー バウンダリー」という言葉から取りました。地球の回復力を超えて人間が活動をしていると、人間が住めなくなる地球になってしまうと危機が伝えられています。次代を担う若い世代の皆さんには平和で持続可能な世界の実現を目指してほしいという願いを込めました。「Mito UNESCO プラネタリー塾」の講座を通して、多様な文化の理解・人への尊厳・世界の平和の大切さを実感していただけたらうれしいことです。また、市民の皆様には、私たち会員とともに、だれもが安心して暮らせる平和な社会づくりにご協力をいただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

『平和』のために私たちが
日々の生活の中で出来ることは
あるのでしょうか？



あなたにとって「平和」とは？



水戸ユネスコ協会と公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

- ・ 1947 年 7 月 19 日 UNESCO 憲章に感銘を受けた草の根の人たちにより、ユネスコ協力会(当時)が民間ユネスコ団体として仙台で立ち上げられた。
- ・ 官民一体となった UNESCO 加盟運動を展開し、1951 年 60 番目の加盟国となる。
- ・ 1956 年：国連の加盟国となる。
- ・ 1981 年：水戸ユネスコ協会創立。
- ・ 1982 年：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟の構成団体加入が承認される。

わたしの平和宣言

私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての生命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

6. 「みんなで力をあわせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

水戸ユネスコ協会 主催

Mito UNESCO プラネタリー塾

受講生募集

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない(ユネスコ憲章 前文より)。国際秩序が危機に直面するいま、若い皆さんとともに平和で持続可能な世界について学び考えていきたいと思います。中高生、大学生の参加を心よりお待ちしております！

中高生
大学生

一般

中高生
大学生

Photo by iStock

参加費

全6回 一括 **2,000 円** | 各回 払い **500 円**

応募
締切

一括：6月9日
各回：開催日の2週間前

スケジュール

各回 **13:30~15:30**

定員

30 名

- 2024 年
- 第1回 6月23日 日 開塾式、英語で国際交流
…ガーナ出身のパーコフィ氏による異文化講話とガーナ音楽体験
- 第2回 7月28日 日 世界のいま 一広げよう平和の心—
…講師：(公社)日本ユネスコ協会連盟 参与(元事務局長) 川上千春氏
…ユネスコ憲章と民間ユネスコ活動の紹介
…皆川末子氏創作の平和を願う布絵鑑賞
- 第3回 9月7日 土 地域の文化遺産とは 一ひと・まちが輝く未来の設計—
…講師：建築家 横須賀満夫氏(水戸市民会館内視察あり)
- 第4回 9月29日 日 環境学習会 一これからの地球を考えよう—
…講師：茨城大学前学長 地球・地域環境共創機構 特命教授 三村信男氏
- 第5回 10月20日 日 SDGs 活動 一梅染め体験—
…SDGs の 17 のゴールを学習・梅染め体験
- 2025 年
- 第6回 1月26日 日 新年交流会、修了式
…先崎キヨ子氏による茶の発祥から世界の歴史をたどるお話と紅茶の紹介
…水戸ユネスコ協会会員との交流



▲ 参加お申込み



▲ ウェブサイト

会場：水戸市国際交流センター(備前町 6-59) (第3回は水戸市民会館)

修了証
発行

主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

問合せ：jimukyoku@mtunesco.jp

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

Mito UNESCO プラネタリー塾 第1回 案内

異文化理解：英語で国際交流 -異文化講話とガーナ音楽体験-

講師：パーコフィ エイキンス 氏

パーコフィさんはガーナの出身ですが、さまざまな国で生活をした体験をお持ちです。それぞれの国や地域で、文化や生活習慣の違いに戸惑った体験談を通して、「違い」を乗り越える相互努力と、ともに生きること広がる世界の喜びを、皆さんと共有する機会になることを願っています。「お互いを知る」ことが国際平和の第一歩です。

また、実際に楽器演奏や民族衣装、食べ物を通して異文化を体験してみましょう。直接体験で、頭だけでなく五感を通して「異なる」ことを感じてみてください。英語で楽しくチャレンジの時間です。

13:30 開塾式

13:50 パーコフィさんの異文化体験談

14:20 異文化体験（ガーナ楽器演奏・民族衣装着用・ソールフード試食）

14:25 まとめ

日 時：2024 年 6 月 23 日（日） 13:30～15:30

会 場：水戸市国際交流センター（水戸市備前町 6-59）

参加費：500円

プラネタリー塾の参加お申し込みは
右のQRコードを読み取り Google フォームへ
<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>



主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第 1 回 報告書

- 1 日 時 2024 年 6 月 23 日（日） 午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
- 2 会 場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《36 名》（中高生 5 / 一般 10 / 会員 21）
- 4 内 容

(1) 本会会員のガーナ出身パーコフィ・エイキンス氏による異文化講話とガーナ音楽体験を通し、「違い」を乗り越える相互努力と、ともに生きることで広がる世界の喜びを知る機会となった。パーコフィ氏が参加者一人ひとりの眼を見て握手をしながら英語で 1 分間挨拶を交わすことから和やかに交流が始まり、パーコフィ氏は「日本が東の端にある世界地図」を指しながら、日本に来るまでに訪れた国々の挨拶の仕方や習慣などで戸惑ったり驚いたりしたことを紹介された。後半は駐日ガーナ大使館から伝統衣装を身につけた職員も参加しパーコフィ氏の民族衣装と共に華やかな演出があったほか、ガーナのボルタ地方の女性農家と、先住民コミュニティによって生産管理される「カワモカ」コーヒー、ドライフルーツ・チョコレート、カラフルな織物や石鹸等々が紹介され、賑やかに試飲・試食が行なわれた。英語はもちろん、五感を使って楽しく学べる機会となった。

(2) アンケートの主な内容

- ・多くの人と出会いコミュニケーションできて楽しかった。
- ・世界の文化の違いを知ることができて進路の参考になった。
- ・楽しく参加できた。子供たちの明るい未来が楽しみ。カカオベースのモノカルチャー経済に疑問。去年の天候不順がガーナでどう影響したのか。
- ・海外を含め相手を理解することの大切さを知った。ガーナと日本の違いは興味深かった。

(3) 風景写真



＊2024年6月30日 茨城新聞に「英語で講話、音楽体験も 水戸でユネスコ塾」という記事が掲載されました。

Mito UNESCO プラネタリー塾 第2回 案内

国際平和学習 -世界はいま:広げよう平和の心 講演とワークショップ-

講師：(公社)日本ユネスコ協会連盟 参与(元事務局長) 川上 千春 氏

次世代を担う若い世代に、平和で持続可能な世界の実現をめざしてほしいという願いを込め開催します。交流を通して文化への理解・人への尊厳・世界の平和の大切さを自分事として考えるきっかけになればと願っています。日本ユネスコ協会連盟が世界平和を願う主要行事として全国展開をしている民間ユネスコ運動キャンペーンの一環、2024年度「民間ユネスコ運動の日 平和の鐘を鳴らそう!」の行事として実施します。

13:30 開会の行事

13:40 「ユネスコ憲章前文」の斉読 筑前琵琶の演奏があります。音色にのせて斉読してください

13:50 講演とワークショップ

<講師紹介>

(公社)日本ユネスコ協会連盟 参与(元事務局長)

高校時代の1年半、南米のボリビアで暮らす。当時南米でも最貧国といわれた国との衝撃的な出会いが、途上国に関心を持つきっかけとなる。大学卒業後、商社、財団勤務を経て、1994年7月から公益社団法人日本ユネスコ協会連盟に勤務。国内、海外のさまざまな活動を担当し、2015年7月から2022年2月まで、同連盟事務局長を務める。2022年3月参与に就任し、現在に至る。

日 時：2024年7月28日(日) 13:30～15:30

会 場：水戸市国際交流センター(水戸市備前町6-59)

参加費：500円

プラネタリー塾の参加お申し込みは

右のQRコードを読み取りGoogleフォームへ

<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>



主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第 2 回 報告書

- 1 日 時 2024 年 7 月 27 日(日) 午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
- 2 会 場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《32 名》(中高生 4 /一般 8 /会員 20)
- 4 内 容

(1)本講座では、(公社)日本ユネスコ協会連盟 参与(元事務局長)川上千春氏を講師に迎え、ユネスコ憲章と民間ユネスコ活動についての紹介が行われました。講演では、ユネスコ憲章の意義について「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という理念が述べられました。また、ユネスコの教育、科学、文化分野での国際協力活動や支援事業の具体例も紹介され、活動の重要性について理解を深めました。さらに、皆川末子氏による「平和を願う布絵」の鑑賞も行われ、参加者は美しい作品に込められた平和への願いを感じながら、改めて平和の重要性を考える時間を持ちました。

(2)アンケートの主な内容

- ・皆が目指す平和を実現させるにはどのようなことをすればいいか、具体的に知る機会となった。
- ・学校では習うことのないような世界の課題を学べてとてもうれしかった。現在は社会学に興味があるので大学の参考にもなった。
- ・平和について考える機会をいただきとてもありがたいと思った。カンボジアへの派遣もとても興味深いと思った。
- ・いままで世界遺産のことしか知らなかったユネスコについて知り、カンボジアのツアーへの参加など実際に自分が体験することを考えるきっかけとなった。
- ・ユネスコの活動内容がよく分かった。川上様の経験談が面白かった。

(3)風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第3回 案内

地域の文化遺産とは ―ひと・まちが輝く未来の設計―

…講師：建築家 横須賀 満夫 氏

<講師からのメッセージ>

ものを“創る”ことへのこだわりは誰にでもある自然な心だと思います。その心の表現を業としている建築家は、純粹であるべきですし、美しいもの・温かいもの・明るいものなど、それらを素直に読み取れる感性を養うべきであると思います。

建築計画は建築単体のみで考えるのではなく、街並みや都市の文脈を意識したものが不可欠です。近年竣工の水戸少友幼稚園、アダストリア水戸本店、JAF茨城支部事務所そして水戸市民会館へと繋がる創造の喜びを再考してみましよう。



<講師プロフィール>

1938年 茨城県生まれ 日本大学理工学部建築学科卒業

1969年 横須賀満夫建築設計事務所 設立

株式会社横須賀満夫建築設計事務所 取締役会長 (一社)茨城県建築士事務所協会 名誉会長
茨城県建築士審査会 会長 水戸市建築審査会 会長 A P E C A r c h i t e c t

日 時：2024年9月7日（土） 13：30～15：30

会 場：水戸市民会館（水戸市泉町1丁目7-1）（館内視察あり）

参加費：500円

プラネタリー塾の参加お申し込みは

右のQRコードを読み取り Google フォームへ

<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>



主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第3回 報告書

- 1 日 時 2024年9月7日（土） 午後1時30分～3時30分
- 2 会 場 水戸市民会館 中会議室 303・304
- 3 参加人数 《73名》（中高生 2 / 一般 51 / 会員 20）
- 4 内 容

（1）第1部 講演

演題「地域の文化遺産とは 一ひと・まちが輝く未来の設計―」

講師 建築家 横須賀満夫 氏

＜講演内容＞

横須賀氏から、人の流れを生み出すパーク&ウォークの思想で設計された水戸市民会館、さらに櫓づくりや西側のガラス面の持つ意味などについて設計者の思いと周辺の再開発への期待が語られた。さらに、切妻屋根の連なりや旧園舎のレンガの再利用などで歴史を紡ぐ少友幼稚園園舎、国道を走る車からの視線を意識した JAF 茨城支部のオフィス、水戸の祭りを期待させる広場スペースのあるアダストリア本店などの設計が紹介され、ひと・まちが輝く未来の創造を感じる講演であった。

（2）第二部 水戸市民会館 施設見学

やぐら広場、特別室、展示室、料理室、スタジオ室等水戸市民会館運営事務局や横須賀満夫建築設計事務所の方から説明を受けながら見学を行った。

（3）アンケートの主な内容

- ・内容がとても良かった。
- ・地域文化遺産について考える切っ掛けになった。
- ・ユネスコ活動に興味を持った。
- ・地域遺産の素晴らしさに気付いた。
- ・建築は、人と街をつなぐものであることが分かった。
- ・文化遺産に関する取り組みについて説明をして欲しかった。

（4）風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第4回（再） 案内

環境学習会 ―これからの地球を考えよう―

…講師：茨城大学前学長 地球・地域環境共創機構 特命教授 三村 信男 氏

<講師からのメッセージ>

最近の夏はすさまじい暑さだし、洪水などもひどくなっています。これには温暖化が関係するのは皆さんも知っている通りです。プラネタリー塾第4回では、世界で起きている問題を紹介し、地球温暖化が何をもたらすのかを考えます。さらに、それを止めるにはどうしたらいいか、地球環境という大きな相手にどう取り組んでいくか、みんなで意見を出し合います。



<講師紹介>

茨城大学 名誉教授・特命教授

専門分野は地球環境工学、海岸工学。茨城大学や東京大学で教壇に立ち、2014年から2020年まで茨城大学学長を務めた。長く気候変動の影響評価と適応策に関する研究を行い、日本だけでなくベトナムや中国、フィジー、ツバルなどの国々で調査を行った。また、国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」に参加し、多くの報告書の執筆に当たった。国内でも、環境省や茨城県などの委員を務めた。主な著書には、「サステナビリティ学をつくる―持続可能な地球・社会・人間システムをめざして」「気候変動適応策のデザイン」などがある。

日 時：2025年2月2日（日） 13：30～15：30

（当初2024年9月29日に開催予定でしたが、延期となりました）

会 場：水戸市国際交流センター（水戸市備前町 6-59）

参加費：500円

プラネタリー塾の参加お申し込みは

右のQRコードを読み取り Google フォームへ

<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>



主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第4回 報告書

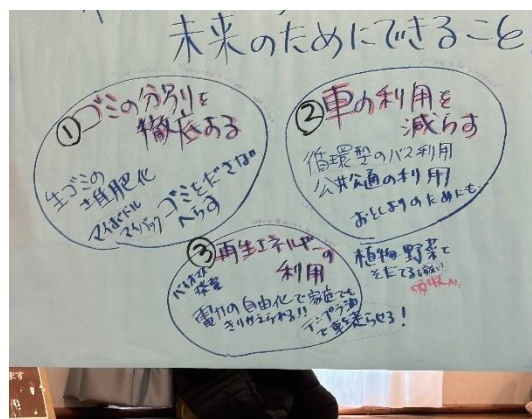
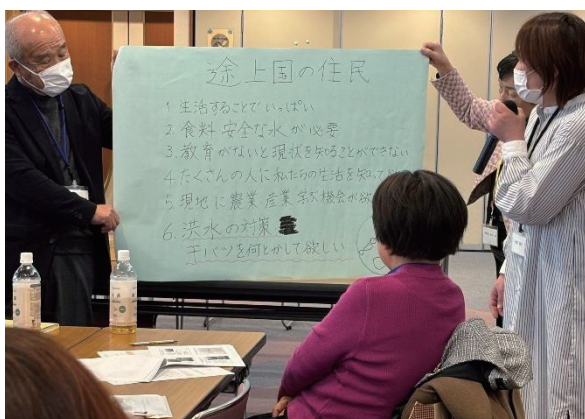
- 1 日 時 2025年2月2日（日）午後1時30分～3時30分
(2024年9月29日開催予定でしたが延期となりました)
- 2 会 場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《27名》(中高生 1 / 一般 9 / 会員 17)
- 4 内 容

(1) 茨城大学前学長で名誉教授、地球・地域環境共創機構特命教授の三村信男氏による、ワークショップ中心の学習会。世界各地で気候変動の影響等を調査してきたご経験に基づき、地球温暖化をめぐる世界の諸問題や最新の研究成果を示していただいた。また、参加者が「国連の気候変動対策担当者」「日本の環境省の担当者」「水戸市の市民」「途上国の住民」のグループに分かれ、それぞれの立場でそれぞれの希望や考えを述べるワークショップを行なった。知識を身に付けるばかりでなく、こうして多様なステークホルダーの考え方の違いに気付く学びの機会となった。最後に、環境保全に向けた中学生参加者の決意表明を聞くことができ、会場は感動と希望に包まれた。

(2) アンケートの主な内容

- ・ 環境教育については理論的ではなく環境に対し本能が呼応する幼児教育が必要だと思います。地球環境の変化に人間が追いつけない点を考えても面白いのでは。
- ・ 若い学生の取り組み方がよかった。
- ・ 気候についての知識を更新できました。ありがとうございました。
- ・ みなさんの活発な議論の中で自分たちの身近なことに落とし込むことができて本当によかった。

(3) 風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第5回 案内

SDGs活動—梅染め体験—

…講師:「水戸の梅染めの明日を考える会」代表 水戸ユネスコ協会 直前会長 林 和男 氏

<講師からのメッセージ>

6年前から、剪定で廃棄される梅の小枝を煮出して生地を染める梅染めを通して、SDGsの環境課題に取り組んでいます。数多く開催してきた梅染めのワークショップ（当初は水戸ユネスコ協会主催、近年は水戸の梅染めの明日を考える会主催）を通して、参加した学校・市民団体（高齢者クラブなど）がSDGsに関わる環境やリサイクルに目を向けたり、梅染めの新製品の考案、水戸のアイコンとして市民自身が地域の振興に梅染めを結び付けようとする試みなど、梅染めが社会的な取り組みに発展しています。

現在は、「水戸の梅染めの明日を考える会」として、梅染めの魅力を広める活動（展示会、ワークショップなど）に加え、学校や市民団体が梅染めに継続的に取り組めるような技術や材料の提供などの支援を続けています。

今回は、梅染めの実習に先立ち、常磐大学の小関先生による「梅染め・組紐プロジェクト」として、水戸で梅染めした絹糸とフィリピン・ネグロス島で草木染めにした絹糸を合わせて組紐にして「新しいフェアトレード商品を開発する活動に発展させている」実践報告があります。

その後調理室を会場に、梅染めを体験しながら、梅染めの楽しさを味わうとともに、梅染めとSDGsの目標達成をいかに結び付けるかを皆様と一緒に考える機会としたいと思います。



<講師略歴>

- ・茨城大学美術科卒業後、県立高校美術科教諭を経て茨城県近代美術館に学芸員として勤務する。
- ・茨城県教育研究センター指導主事を経て笠間高校長に就任、美術科新設・同校舎建設に携わる。
- ・水戸ユネスコ協会会長を2015年から2022年まで務める。
- ・niki工房代表（木工・ワークショップ企画）、水戸の梅染めの明日を考える会代表・民生委員

日 時：10月20（日） 13：30～15：30

会 場：水戸市国際交流センター（水戸市備前町 6-59）

参加費：500円

持ち物：エプロン（汚れてもいい服装でお越し下さい）

プラネタリー塾の参加お申し込みは

右のQRコードを読み取り Google フォームへ



<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>

主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第5回 報告書

1 日 時 2024年10月20日(日) 午後1時30分～3時30分

2 会 場 水戸市国際交流センター 研修室・調理室

3 参加人数 《21名》(中高生 4/一般 4/会員 13)

4 内 容

(1)第一部 講演 研修室

演題「SDGsと水戸の梅染め」

～「地域」と「世界」をつなぐ学生プロジェクト～

講師 常磐大学 准教授 小関一也 氏

〈講演内容〉

- SDGsの特徴や基本を確認し、私たちに最も伝えたいメッセージを知る
- SDGsの達成状況や地球が直面する課題などについて、クイズで学んだ
- 常磐大学の「梅染め・組紐プロジェクト」を紹介し、水戸の梅染めが世界に広がる可能性について紹介された

(2)第二部 梅染め体験 研修室・調理室

1 「梅染めとSDGsについて」(ビデオ紹介)

智学館中等教育学校 教諭 五十嵐 蓮 氏

2 「梅染め体験」 講師 ユネスコ会員4名、補助 智学館生徒4名

〈実施内容〉

- ・梅染めの技法説明
- ・ハンカチの絞り染めの準備(輪ゴム、割り箸、ビー玉で模様をつける)
- ・事前に用意した剪定した梅の枝を煮出した「染液」で染色
- ・色を定着させるため媒染液に付けた後、水洗い、アイロンがけ

(3)アンケートの主な内容

- ・SDGs活動は次世代の人達への贈り物、環境問題について考える良い機会となりました。プラスチックの分解に450年以上かかること、資源を大切に使うことなど地球環境問題を常に考えて暮らしていきたいと思います。身の回りにあるものから少しずつ実行していけたらと思います。
- ・日本が男女平等に関して世界118位には驚きました。
- ・講演も梅染めも非常に楽しかった。また、梅染め以外の竹染め等草木染めを体験したい。

(4)風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第6回 案内

茶の発祥から世界の茶の歴史をたどる

ー中国からイギリスまでー

…講師：ティーエキスパート協会会長 先崎 キヨ子 氏

<講師からのメッセージ>

お茶の発祥の地である中国のキーモン紅茶と英国紅茶のブレンド茶を味わいながら、紅茶の文化と歴史をたどります。
また、アフタヌーンティーを楽しみながら、皆様で交流を深めていただければと思います。



<講師プロフィール>

1991年 茨城県初の日本紅茶協会認定ティーインストラクター資格を取得（1996年シニアティーインストラクター）
1999年 水戸市泉町に茨城県初の紅茶専門店「紅茶館」を開店（後に南町に移転）
2001年 ティーエキスパート協会を設立し、2003年よりティーエキスパート養成講座を開設、紅茶文化の普及に努める
2018年 「紅茶館」を閉店後は、高校や専門学校で講師を務めるとともに、自宅で紅茶教室を開催し、紅茶の魅力を発信しています

日 時：2025年1月26日（日） 13：30～15：30

会 場：水戸市国際交流センター（水戸市備前町 6-59）

参加費：500円

プラネタリー塾の参加お申し込みは

右のQRコードを読み取り Google フォームへ

<https://forms.gle/ifA3v8rFJvRaBS2C6>



主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第6回 報告書

- 1 日 時 2025年1月26日（日）午後1時00分～3時30分
- 2 会 場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《63名》（中高生 1/一般 42/会員 20）
- 4 内 容

（1）茶の発祥の地である中国の祁門（キーモン）紅茶やインドのダージリン紅茶を飲みながら、茶の文化の話、茶の原木（茶樹）について、茶葉の種、そして紅茶のできるまでの歴史についてお話を頂きました。大航海時代に東インド会社により航路でのヨーロッパへの茶の伝播、そしてイギリスから世界へと伝播していく歴史の流れや、中国の茶葉農家との交流の話等、これまでの幅広い経験に裏打ちされたお話は心に響くものがあり、奥深い茶の世界へと引き込まれました。最後に、イギリスの貴族たちの習慣として飲食されていたと言われる本格的なアフタヌーン・ティーを頂きながら交流をはかりました。エリザベス女王が好んだというケーキやサンドウィッチ、イギリスのハー・マジェスティ・ブレンド茶（女王陛下のブレンド）を頂きながら、素敵な空間の中で深い交流ができました。

（2）アンケートの主な内容

- ・紅茶の歴史と種類のお話が大変参考になり、紅茶の種類に細かな風味の違いや出来た経緯があるというお話を聞きながら試飲できて良く理解できました。
- ・紅茶にまつわる歴史のお話は大変興味深く聞かせていただきました。
- ・先生の海外での体験談も貴重でした。お話も分かりやすかったです。
- ・アフタヌーン・ティーの作法もしっかり学べ、また、地理の歴史の復習もできてとても良かった。これからの進路でも生かしていきたい。
- ・紅茶の違いが良く分かり、手作りケーキもとてもおいしく頂きました。
- ・イギリスの歴史も面白く聞かせていただき、紅茶への興味が増しました。
- ・紅茶の歴史を聞いて紅茶への興味が増して飲めるようになりました。

（3）風景写真



ユネスコ憲章 前文（抜粋）

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

「Mito UNESCO プラネタリー塾」修了生第1号 誕生

2024年度のプラネタリー塾の6回の講座すべてに参加し、ユネスコ精神を学ばれた受講生が誕生しました。那珂市立瓜連中学校2年生の大塚健太郎さんです。2月2日の修了式にて修了証書と記念品をお渡ししました。



感想

水戸ユネスコ協会の「プラネタリー塾」を知った。海外に興味があった。「この塾を通して自分に合った入口を見つけてください」と話を聞いた。「行こうかな、行きたいな」ではなく、「行こう」を思った。自分で行こうと決めたことが初めてなので、自分の自主性に今、驚いている。

プラネタリー塾の講師の先生方の話を聞いて、見方や知識を学び、ユネスコ憲章前文の「心」の話を僕なりに「心」にしてみたら、僕が大人になる将来、その先の未来、僕らの時代のために、今、僕ができる事を見つける「心」を構えることができ、自分の中の感情が良い方向へ進んだと実感することができた。ありがとうございました。

平和へのメッセージ



マザー・テレサさん

(現・北マケドニア共和国 カトリック修道女会)
1910年8月26日 - 1997年9月5日

平和はほほえみから始まります。

一日五回、あなたが本当は笑顔を見せたくない人にほほえみかけなさい。



ヨハン・ガルトウングさん

(ノルウェー社会学者・数学者)
1930年10月24日 - 2024年2月17日

戦争が無いだけが平和？

- 共に生きることのできる世界である
- 公平な平等関係が保障されている世界である
- ○○な生き方を認め合える世界である

○○には何が入ると思いますか？

2025年2月発行



水戸ユネスコ協会
Mito UNESCO Association

<https://mtunesco.jp/>

メール: jimukyoku@mtunesco.jp